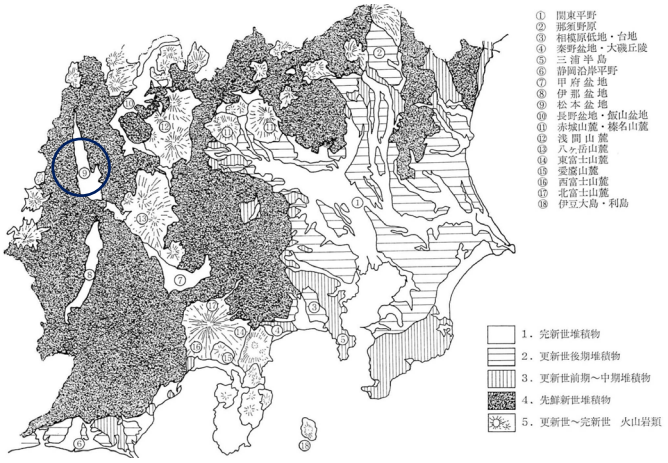
9.松本盆地



地形・地質

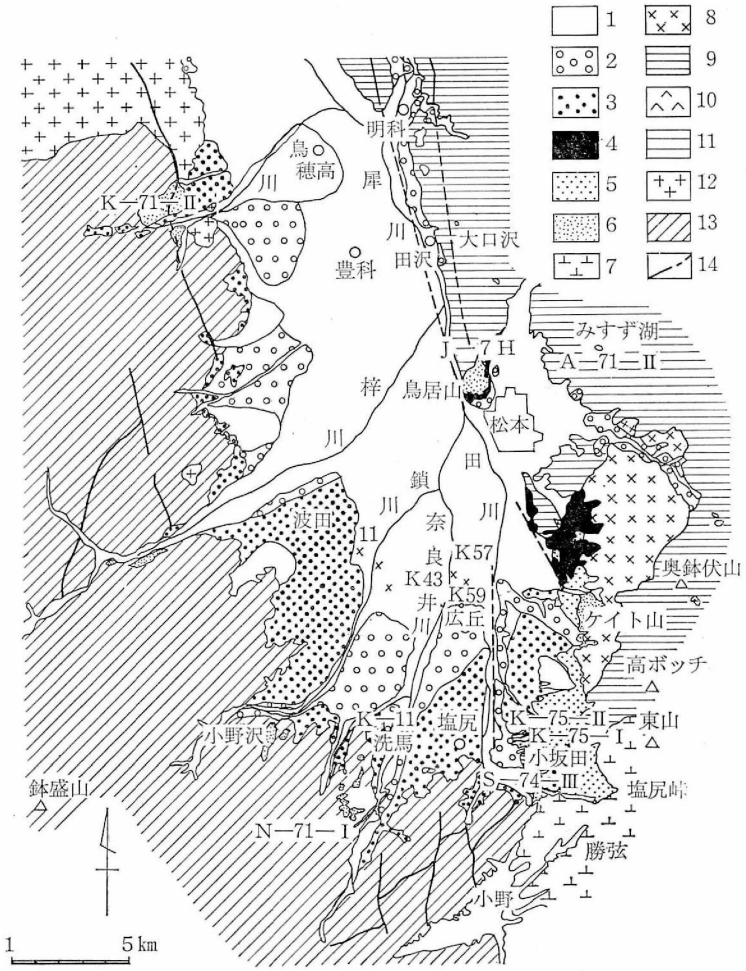
松本盆地は，飛騨山脈と中山山地に挟まれた盆地で，長さおよそ 48km，平均幅 10km，約 480km^2 の面積を占め，南北に細長い形をしています。盆地の周縁部には，扇状地および段丘が良く発達しています。

地下水

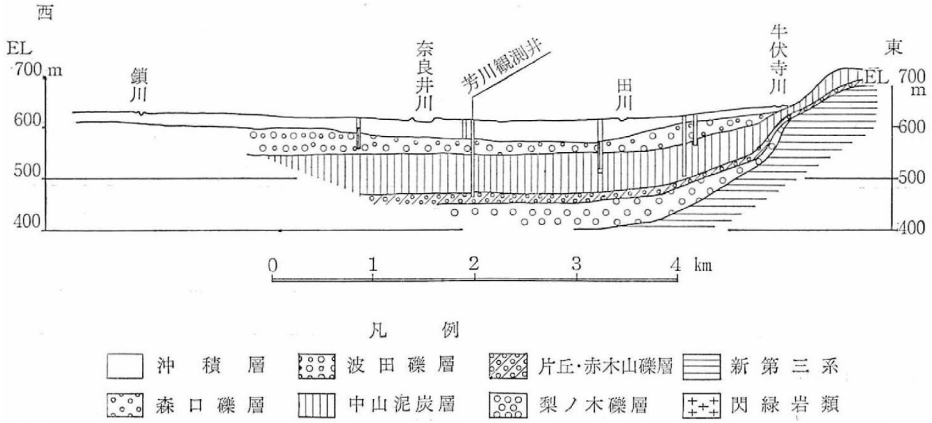
松本盆地の有能な帯水層は更新世の砂礫層で，盆地の北部では扇状地砂礫層，南部では波田礫層が採水の主体となっています。

松本盆地の第四紀層序

時代	ローム層	地層名
完新世		沖積層
更新世	波田ローム層	最低位段丘堆積層
		波田礫層
	小坂田ローム層	
	御岳第2浮石層	中山泥炭層
	御岳第1浮石層	
	梨ノ木ローム層	片丘礫層・赤木山礫層
		梨ノ木礫層
先第四紀		基盤岩類



1：沖積層，2：森口礫層およびその相当層，3：波田礫層，4：中山泥炭層，
5：赤木山礫層・片丘礫層，6：梨ノ木礫層，7：塩嶺累層，8：閃緑岩類，
9：新第三系，10：木崎岩(溶結凝灰岩類)，11：中生界，12：花崗岩類，13：古生界，14：断層(破線は推定断層)



松本盆地の地質図と南部地区の地質断面図（東西方向）

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）